オンラインプログラミング環境



- AI活用機械学習プログラミング演習ではオンラインプログラミング環境を提供しており、プログラミングを簡単にご体験いただけます。 ※AI活用入門・AI活用アプリケーションデザイン入門・AI活用データサイエンス入門では提供していません。
- オンラインプログラミング環境には、下記制約があります。ご了承の上お申し込みください。





【制約】

- オンラインプログラミング環境は、同時アクセス数に上限があり、アクセスが集中するとコードを実行できないことがあります
 - ※アクセス上限数は受講者数等の 状況に応じて変更することがあります
- 負荷の高いコード(過度に行数の長いものやループなど)を実行すると、アクセス数に満たない場合も実行できないことがあります

授業名	A I 活用機械学習プログラミング演習			
担当教授	教授			
授業目的	AIの基盤技術である機械学習・深層学習に関する基礎的な知識を修得し、それらの実装のために必			
汉未日 则	要なPythonを用いた基礎的なプログラミングスキルを修得することを目的とする。			
	・機械学習・深層学習に関する基礎的な仕組みを理解し、説明できるようになる。			
到達目標	・Pythonを使って簡単なデータ解析ができるようになる。			
到连日保	・Pythonを使った機械学習・深層学習のプログラムを理解し、簡単なアルゴリズムの編集ができるよう			
	になる。			
はまり はままれる おいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はい	機械学習や深層学習の仕組みを学ぶ。さらに、プログラミング言語Pythonの基礎を学んで、機械学			
授業の概要・背景	習や深層学習に関するプログラミングを行う。			

	講義タイトル	講義内容		
1	Pythonの概要と基本構文	Pythonの概要を理解する。 Pythonを学習する理由を理解する。 Pythonの基本構文を理解する		
,	NumPyによる数値計算と Matplotlibによる可視化	NumPyに関する理解を深め、数値計算処理ができるようになる。 Matplotlibに関する理解を深め、データの可視化ができるようになる。		
3	Pandasの概要とデータ読み込み	Pandasに関する理解を深め、簡単な操作ができるようになる。 テキスト、HTML、Excelの3種類のデータ形式からPythonでのデータの読み込み方を習得する。		
4	データ解析の基礎1(データ加 工)	データ加工に関する以下の5つについて理解する。 1. データの結合と連結 2. ピボットテーブルの作成 3. 重複データ処理 4. 欠損値、外れ値の処理 5. クロス集計処理		
١ 5	データ解析の基礎2(データの 可視化)	Seabornを使って以下の5つのグラフを作成できるようになる。 1. ヒストグラム 2. 散布図 3. 棒グラフ 4. 折れ線グラフ 5. ヒートマップ		
6	6 データ解析実践 サンプルデータを用いて、データ解析ができるようになる。			
/	機械学習1(機械学習概論 と線形回帰)	教師あり学習と教師なし学習の違いについて理解し、説明できるようになる。 教師あり学習の理解を深めるため、線形回帰について理解し、説明できるようになる。		
1 2	機械学習 2 (ロジスティック回 帰)	教師あり学習の理解を深めるため、ロジスティック回帰(分類予測)について理解し、説明できるようになる。		
1 9	機械学習 3 (SVM, サポート ベクターマシン)	教師あり学習(分類予測)の主要アルゴリズムの一つとして、SVM(サポートベクターマシン)について理解し、説明できるようになる。		
10	深層学習1(ニューラルネット ワークの仕組み概論)	深層学習の原理を理解するため、ニューラルネットワークの概要を理解する。		
111	深層学習 2 (ニューラルネット ワークの学習)	ニューラルネットワークの学習方法の1つとして、誤差伝搬法について理解を深める。 ニューラルネットワークの種類(CNN、RNN/LSTM)の概要や実装のためのライブラリを理解する。		
12	深層学習 3 (Pythonによる CNNの実装)	CNNが、Pythonではどのように実装されているのかを、サンプルコードを見ながら学習する。また、企業活動への適用事例も合わせて紹介し、実務への理解を深める。		
111	•	RNN/LSTMが、Pythonではどのように実装されているのかを、サンプルコードを見ながら学習する。また、企業活動への適用事例も合わせて紹介し、実務への理解を深める。		
14	総合演習	本講義で学習した内容を十分に習得していることを確認する。		

AI活用人材育成プログラム(バーチャルラーニング版)_ルーブリック

ルーブリック 10科目マッピング

AI活用入門		
アプリケーションデザイン入門		
データサイエンス入門		
Webアプリケーションプログラミング演習		
機械学習プログラミング演習		
UI/UXデザインプログラミング演習		
AI活用アプリケーションデザイン実践演習		
AI活用データサイエンス実践演習		
AI活用発展演習 I		
AI活用発展演習 II		

AT活用人材のスキル			レベル定義					
		FHILLIM7+II.	1	2	3	4		
		THE ASSOCIATION	早碳知識を有する		実践的な知識・技術を有する 上位者の招示を仰ぎ作業可能	発展的な知識 独力で業務		
AI活用スキル	AIスキル	AIスキル	AI活用入門	アプリケーションデザイン入門	アプリケーションデザイン 実践演習	発展演習I	発療濟習II	
	ITスキル	プロジェクト マネジメントスキル						
		プログラミングスキル			Web 機械 UI/ アプリ 学習 UX			
	データ サイエンス スキル	統計解析スキル (データ分析手法)		データサイエンス入門	データサイエンス実践演習			
		統計解析ノキル (数学・統計知識)						
	ビジネス スキル	ビジネス基礎スキル (業務知識)						
		インダストリスキル (業界知識) ※対象外						

			レベル定義					
AI活用人材のスキル		AT活用しせのフナル	1	2	3		4	
	ALIGIBANUATIV		基礎知識を有する	基本的な知識・技術を有する 上位者の補佐ありで作業可能	実践的な知識・技術を有する 上位者の指示を仰ぎ作業可能	発展的な知識・技術を有する 独力で業務を遂行できる		
_	AIスキル	AIスキル	【AI活用入門】 様々な事例を踏まえ、AIを活用して課題を解決するための基本的な考え方を理解している。 AI技術やAPIの基礎を理解し、AIアプリケーションを利用できる。	【アプリケーションデザイン入門】 様々な分野における人は活用事例において、それらが技 術的にどのように実現されているかを理解しており、AIを 活用して課題を解決するための考え方を理解している。 自然言語処理、音声認識、画像/動画解析といったAI 技術、及びAI機能を利用するためのAPIを理解してお り、APIを用いた基本的なAIアプリケーションを開発でき る。	課題解決のために、自然言語処理・音声認識・画像/ 動画解析などのAPIを適切に用いてAIアプリケーション		【発展演習II】 課題解決に有効なAPIを選定し、様々なAPIなどを組み合わせたプログラミングを行って、高度なAIアプリケーション開発ができる。	
	ITスキル データ	プロジェクト マネジメントスキル	システム設計の基礎を理解している。	様々な事例を踏まえ、システム設計の方法を理解して いる。	チームメンバーとのコミュニケーション・ディスカッションの重要性を理解し、顧客にとって適切なソリューションをチームとして導き出すことができる。	వ .	割分担等、協力して高度なプロジェクトを遂行することができる。 課題発見・分析~アプリケーション開発~ソリューション	
		スキル 基礎を理解している。 ボード ボータ ボータ ボード ボータ ボール ボータ ボール ボータ ボース ボータ ボース ボータ ボース	ビジュアルブログラミング言語Node-REDの 基礎を理解している。		Node-REDを用いて、画像・音声・言語処理などのアプリケーション開発ができる。 【Webアプリケーションプログラミング演習】 Javaを用いたWebアプリケーションを開発できる。 【機械学習プログラミング演習】 Pythonを用いた機械学習や深層学習のプログラミングができる。		HTML, CSS, JavaScript等などを複合的に用いて、 適切なUI/UXの高度なアプリケーションを開発できる。 RやSPSSを使って、実践的なデータに対して深い分析	
			データ分析手法の基礎を理解し、R/R Studioを使って		[UI/UXデザインプログラミング演習] ユーザにとって使いやすいUI/UXを設計でき、HTML, CSS, JavaScript等を使ってUIデザインを開発でき る。 [データサイエンス実践演習] SPSSを使って実践的なデータ分析を実施することがで			
	サイエンス	())))·()] /(A)		R/R Studioを使ってデータ分析ができる。	ಕಿತ್ಯ		を実施することができる。	
	スキル	統計解析スキル (数学・統計知識)	テータ分析や統計に関する数字的な基礎を埋解している。	テータ分析や統計に関する様々なアルコリスムを埋解している。	データ分析や統計に関する数学的知識やアルゴリズムを 応用できる。		データ分析や統計に関する数学的知識やアルゴリズムを 実践的な対象に応用できる。	
	ビジネス スキル	ビジネス基礎スキル (業務知識)	ロジカルシンキングなどの思考法の基礎を理解している。	ロジカルシンキング、ラテラルシンキング、フレームワークを 理解し、これらを用いて課題を発見し、解決の方向性 の見当をつけることができる。	ストーリー構造化手法や、	顧客とコミュニケーションを取り、問題を論理的思考と構造化によって的確に捉えることができる。 また、デザインシンキングを実施し、顧客視点に立ったソ リューションの提案や、プレゼンデーションを実施することが できる。	翻客とコミュニケーションを取り、データサイエンススキルも あわせ、データ分析・論理的思考・構造化を組み合わ せて問題を砂確に捉えることができる。 また、デザインシンキングを実施し、顧客視点に立った高 度なリリューションの提案や、プレゼンテーションを実施す ることができる。	
		インダストリスキル (業界知識)※対象外						